

令和7年度（2025年度）

実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	富田林商工会
代表者職・氏名	会長 村元 保男
所在地	〒584-0012
	富田林市栗ヶ池町2969番地の5
設立年月日	昭和37年07月22日
職員数	9
うち経営指導員数	9
所管地域	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村
管内事業所数	4,427（令和3年経済センサス）
うち小規模事業者数	3,012（令和3年経済センサス）
会員数	1,849（令和8年3月31日現在）
組織率	41.7%
担当者職・氏名	事務局長 木下 嘉津
連絡先電話番号	0721-25-1101
連絡先メールアドレス	info@tonshow.or.jp

□主な事業概要（定款記載事項等）

- (1)商工業に関し相談に応じ、又は指導を行うこと。
- (2)商工業に関する情報又は資料を収集し及び提供すること。
- (3)商工業に関する調査研究を行うこと。
- (4)商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。
- (5)展示会・共進会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。
- (6)商工業に関する施設を設置し維持し、又は運用すること。
- (7)商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- (8)行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- (9)社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- (10)商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。
- (11)大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。
- (12)商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。
- (13)行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- (14)輸出品の原産地証明を行うこと。
- (15)国際親善の増進を図ること。
- (16)職業紹介事業を行うこと。
- (17)前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

「所管地域の現状」

所管地域は、富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村の一市二町一村である。管内の事業所数は、4,427社（富田林市3,388社 河南町490社 太子町355社 千早赤阪村194社 令和3年経済センサスより）あり、うち小規模事業者は、3,012社（富田林市2,260社 河南町349社 太子町259社 千早赤阪村144社 令和3年経済センサスより）で、全事業者の68.0%を占めている。業種の内訳として、卸売、小売業19.7% 宿泊、飲食業7.3% 製造業16.2% 建設業13.4% サービス業15.0% その他28.4%となっており、幅広い業種業態が存在しそれらに対応した支援が求められている。

「課題」

環境変化に伴う急激な円安や原材料、原油価格の高騰、物価高による消費の低迷など国内の経済は停滞感が強く感じられる。また、人口減少に伴う地域での労働力不足など人材確保も大きな課題の一つとなっているなど小規模事業者にとっては依然として厳しい状況が続いている。そのような状況の中、小規模事業者にとっては経営基盤の再構築や事業計画の策定など事業継続に向けた取り組みが重要であり、それらに重点を置いた伴走型支援が必要である。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

①小規模事業者の持続的発展の推進

地域産業を持続的発展させるため、事業承継・提携等、創業者支援などに取り組み地域産業の底上げを図る。また、自然災害などの脅威や気候変動に対する取り組みを支援することで小規模事業者等の持続的発展を目指す。

②小規模事業者の新たな魅力の発見・創出、競争力の強化

小規模事業者が持つ新たな魅力の発見、創出をすることにより、自社が持つ魅力を再発見できる機会づくりを目指す。また、それらを効果的に発信、プロモーションできるようなIT化の促進を支援する。同時にブランディング化することで、展示会等への出展を促進し、競争力の強化につなげる。

③新たな労働力の確保、職場環境整備のための雇用の創出

人口減少、高齢化などからくる労働力不足を補うため、マッチングフェアの開催、働きやすい環境整備をするための講習会など新たな雇用の創出につなげる。

④地域資源を活用した特産品の開発等、インバウンド事業を引き出す観光開発支援

観光資源を有効活用できるような取り組みを推進し、インバウンド需要に向けた商品開発、プロモーションを支援することで新たな販路の開拓につなげる。

(3) 事業を実施した効果

小規模事業者が抱える多様かつ複雑な経営課題に対し、窓口相談や巡回指導を通じて実態を的確に把握し、課題解決に向けた継続的な伴走型支援を実施した。特に、事業者ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる相談体制を整備・強化することで、経営課題の早期発見と早期解決につなげ、経営の安定化に寄与した。さらに、高度かつ専門的な課題については、中小企業診断士等の専門家と連携した専門相談を積極的に活用し、実効性の高い助言・支援を行うことで、より迅速かつ的確な課題解決を図った。また、創業促進支援、雇用・労務環境の改善、DX推進に向けたITツールの導入・活用支援、BCP（事業継続計画）の普及啓発、脱炭素・省エネの取組支援など、小規模事業者の多様なニーズを踏まえた各種事業を総合的かつ積極的に展開した。これらの取組により、事業者の経営力向上と持続的発展が促進されるとともに、地域経済の活性化にも大きく寄与した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

多様な環境変化に伴う原材料や原油価格の高騰、労働力不足など経済の急激な変化に対応しつつ支援を実施した結果、事業者ごとの経営課題をよりの確に把握し、細かなニーズに応じた支援の必要性が浮き彫りとなった。経営相談事業においては、課題解決に向けた迅速かつ的確な対応と、持続的な経営を支える伴走型支援の重要性が一層高まっている。また地域活性化事業においても、事業者ニーズを的確に捉え、リアルタイムで求められる施策を事業に反映させることが求められる。次年度は、引き続きマル経融資を中心とした金融支援を重点に据え、経営基盤の強化につながる個社支援を推進するとともに、外的要因によりひっ迫した経営状況の改善や再構築を支援していく。さらに、多様化する課題に対応するため専門的支援の充実を図り、関係機関や専門家と連携した伴走型支援を強化するほか、経営指導員のスキル向上に向けた仕組みづくりを通じて、若手職員の資質向上にも取り組んでいく。

富田林商工会

前年度支援企業数		339 社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	340	330	329	96.8%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	1	1	1	100.0%
3	金融支援（紹介型）	支援数	2	0	0	0.0%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	150	142	143	95.3%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0	0.0%
6	資金繰り計画作成支援	事業所	1	0	0	0.0%
7	記帳支援	事業所	30	48	48	160.0%
8	労務支援	支援数	42	38	38	90.5%
9	人材育成計画作成支援	事業所	2	2	2	100.0%
10	マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0	0.0%
11	販路開拓支援	支援数	50	32	33	66.0%
12	事業計画作成支援	支援数	5	17	17	340.0%
13	創業支援	事業所	1	0	0	0.0%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	38	38	190.0%
15	コスト削減計画作成支援	事業所	10	6	5	50.0%
16	財務分析支援	事業所	10	0	0	0.0%
17	5S支援	事業所	9	0	0	0.0%
18	IT化支援	事業所	40	34	34	85.0%
19	債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0	0.0%
20	事業承継支援	事業所	5	28	28	560.0%
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	40	0	0	0.0%
23	結果報告	事業所	340	330	329	96.8%

小規模事業者において新型コロナウイルス感染症拡大による経営危機から経営改善を図る上で、販路拡大や仕入資金が不可欠であるが、数年に及び収入や資金力低下が著しく過去の決算状況では金融機関での資金調達が難しいことから、改善を目的とした経営改善貸付による調達支援の役割が増加し支援充実を図ると共に、万博市場に向けた販路拡大支援を重点的に実施する。

万博需要拡大に向け経営指導を伴う資金調達や販路支援を実施し大阪市内や観光地と違い管内の影響が少ないが、代表事例として法人の建設業が2年前売上1950万円当期純損失-600万円が本年度を含め経営支援を伴う資金調達を毎年支援して活用の方方向性が明確化し1年前に3870万円当期純損失-277万円、当年度末決算で7360万円当期純利益236万円と急速な成長を遂げた。また創業後記帳やIT導入による電子化対策の支援を行うと共に、一方でインフルエンザ蔓延の影響からBCPに関する相談が増加し経営基盤整備を図る支援を重点的に行い数値の適正化から状態の把握や分析に繋がるよう支援した。

Ⅱ 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	0	0	0	-
25	税務相談	日数	10	0	0	0.0%
26	金融相談	日数	0	0	0	-
27	労務相談	日数	10	10	10	100.0%
28	その他相談	日数	10	20	20	200.0%

支援のポイント・成果

周辺市場が減退する中で、経営改善資金調達をカルテ支援で実施して来た事で売上が増加がみられる企業も増加し、法人化や労働環境の考慮について司法書士や労務に支援を依頼し専門相談を行う事で一層の成長に向けた基盤整備を支援した。

事業名		地域ブランド開拓、情報発信事業		事業番号	I	新規/継続	継続		
想定する実施期間		H22 年度～		年度まで	16 年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 商工会管内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品(製品)が多々ある。そのような商品(製品)をブランド商品として認定、PRすることにより、販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、特産品をブランド化し情報発信することにより、地域の観光事業の活性化が図れ、地域振興や商工業発展に貢献することができる。 (企業ニーズ) 富田林市と連携し、地域特産品開発会議等を重ねる中で、認定制度の必要性やブランド商品の開発及び情報の発信をしていきたいと事業者より要望があったため。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	商工会管内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■新規認定「ハンズオン型」・既存認定「販路開拓」 ○第21回富田林ブランド認定審査会の開催(3月開催で新規2社認定、既存33社37商品) ○HPを活用した情報発信、管内観光窓口でのPR活動を実施した。 ■「販路開拓型」 ○河南町、太子町、千早赤阪村特産品についての販路開拓支援した。 (1月にPRイベント実施、11社) ■「ハンズオン型」 ○販売促進活動用PRパンフレットの作成、配布を実施した。 ○管内での特産品展示販売の実施(7社)や富田林市の大阪関西万博PR「のれんめぐり」期間(9/11(木)～24(水))における万博会場での特産品展示販売を実施した(10社)。 今年度は大阪関西万博会場にて富田林市の特産品としてデジタルサイネージを使用したPR展示販売が実施でき、多くの人に特産品としてアピールすることができた。また、万博には出店できなかった事業所においても地域で展示即売会を実施し、消費者へ周知することができた。HPの改修についてもより見やすくPR効果のある仕様になり各社HPへ誘導しやすくなった。次年度は、万博程のアピール効果が望めないため、地域での展示販売会を充実させ、紙媒体の最新版の販売促進活動用PRパンフレットの作成、配布を実施するとともに、HPへのパンフレットの掲載も実施する。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 ②広域連携 ③市町村連携 富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。 ④相談相乗							
	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	65.0	総支援企業数(実績)	63.0	支援実績率	96.9%	満足率	98.4%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	農商工事業者の自社製品(商品)の販路拡大/新規顧客の開拓につながったと回答した事業者の割合						
	数値目標	80	%	実績数値	88.9	%	目標達成度	111.1%	
事業全体の実績／目標達成度	成果の代表事例	①新たに2社(2商品)を認定した。認定商品も年度内に1社1商品取り下げがあったので、既存32社36商品となり認知度向上につながることができた。 ②今年度は大阪関西万博の出店や万博効果で各地でイベントが積極的に実施されたため、各事業者へ参加推奨を実施し、地域内外のイベントに参加することで販売促進活動を実施することができた。 ③富田林市観光協会等と連携し、地域のイベントに合わせて富田林ブランド商品の展示会等を実施し、広く消費者にアピールすることができた。 ④販売促進につながるようチラシを作成し、消費者へのアピールに努めた。 ⑤富田林市と連携し、6次産業のブランド登録促進に努めた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度は大阪関西万博が開催され、万博会場での富田林市のPRへ参加し、富田林市の特産品として展示販売が実施でき、多くの人に特産品としてアピールすることができた。また、万博には出店できなかった事業所においても万博効果で地域内外の多くのイベントに積極的に参加することで販売促進活動を実施することができた。次年度は大阪関西万博程のPR効果が見込めないため、更に積極的に各地のイベントに参加して販売促進活動を推進するとともにSNSやHP、パンフレットのリニューアル等も視野に入れて、情報発信の強化を図りながら、事業者の新たな販路の拡大と新規顧客の獲得につなげていきたいと考える。紙媒体の最新版の販売促進活動用PRパンフレットの作成、配布を実施するとともに、HPへのパンフレットの掲載も実施する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	34.0	支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	97.1%	満足率	97.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	84.8	%	目標達成度	106.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	91.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	90.9	%	目標達成度	113.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	17.0	支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合。						
		数値目標	80.0	%	実績数値	94.1	%	目標達成度	117.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		雇用管理労務対策セミナー		事業番号		2		新規/継続		継続	
想定する実施期間		H29 年度～		年度まで		9 年		目		※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 近年、長時間労働など様々な労働に関する諸問題が取り沙汰されており、雇用主、被雇用者及び求職者などの労働環境についての関心が高まっている。それに伴い、管内の事業者では大規模事業者と比べ労働環境の整備が不十分であることから、求職者の関心が離れる傾向にあり人手不足に陥っている。そのため、労働環境を整備し従業員の定着と人材不足を解消するため、専門家による雇用管理セミナーを開催し、企業の課題解決につなげることを目的とする。 (企業ニーズ) 現在、多くの管内事業者が人材不足の課題を抱えている。雇用環境の整備が必要であるが、自社の問題点に気付いていない又問題点が分からないなどの事業者も多く、労働関連のセミナー開催を希望する事業者が多くなっている。目まぐるしく変化する労働関連法について学習し、労働者を雇用しやすい環境を整えていく必要がある。									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の従業員を雇用する企業（全業種） 小規模事業者並びに中小企業の人事・労務担当者									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：令和7年7月17日（木）午後1時30分～午後4時 場所：富田林市市民会館 内容：労働関係法のポイント、労災保険のポイント、大阪府の事例紹介など 参加数：39社 日時：令和7年11月10日（月）午後2時～午後4時 場所：富田林市市民会館 内容：育児・介護休業法のポイント、ハラスメント対策・女性活躍推進、大阪府の事業紹介など 参加数：21社									
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。								
		②広域連携									
③市町村連携	各市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。										
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	58.0	支援実績率	96.7%	満足率	96.6%		
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合								
		数値目標	80	%	実績数値	93.1	%	目標達成度	116.4%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、労務管理に対する知識が大きく向上した。これまで曖昧な理解のまま対応していた法令や手続きについて、正確な知識を学ぶことができ、実務に活かせる理解へと深めることができた。また、日常業務の中で見過ごしていた課題や、十分に対応できていなかった部分についても再確認する良い機会となり、社内の環境整備につなげることができた。									
	その他目標値の実績	目標値 (計画)			目標値 (実績)			目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	計画していた支援企業数より少ない実績となってしまったが、セミナー自体の満足率は高く、今後も引き続き実施していきたいと考える。また、より内容の良いセミナーにするためにも府の担当部署や監督署、ハローワークとの連携をさらに深めていきたい。									

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	123.3%	満足率	94.6%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	91.9	%	目標達成度	114.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）	0		目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	95.2	%	目標達成度	119.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

5-3. 地域活性化事業 事業調書（実績）

富田林商工会

事業名		BCP普及啓発事業				事業番号	3	新規/継続	継続
想定する実施期間		R3 年度～		年度まで		5 年 目	※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 平成30年度に大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風19～21号など小規模事業者者に甚大な影響を及ぼす大規模災害が相次いだ。近年は、大規模な直下型地震や南海トラフ地震など大規模地震の発生も想定される中で、個々の小規模事業者の経営だけでなく、サプライチェーンにも大きな影響を与えるおそれがある。大企業では、事前対策の取組が進んでいる一方で、小規模事業者における災害への備えの取組は、一部にとどまっておき経営資源が脆弱な小規模事業者は、ひとたび被災すると経営に大きな影響を受ける可能性が高いと考えられる。このような中で、当会として「事業継続力強化支援計画」を令和3年4月より実施しており、関係市町村と連携し、自然災害等に備える小規模事業者の取組を支援し、体制、取組を強化することで、持続的発展につなげる。 (企業ニーズ) 大規模な自然災害が想定される中で、小規模事業者の危機管理意識は高まっていると考えられる。積極的に普及啓発を行うことで、より計画的なBCP策定につながると考える。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	BCP普及啓発セミナー 開催日時：令和3年3月26日(木)PM7：00 開催場所：富田林商工会 会議室/Google meetによるライブ配信 開催内容：①情報漏洩対策のリアルと「人」の対策 ②最低限おさえておきたいサイバーセキュリティ対策 支援企業数：14社(目標20社) <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。 ②広域連携 ③市町村連携 富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。 ④相談相乗							
	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	72.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	制度について理解を深め、今後、自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合						
事業全体の実績／目標達成度	数値目標	80	%	実績数値	100	%	目標達成度	125.0%	
	成果の代表事例	・セミナーを受講し事業所のセキュリティの脆弱性を認識したことで自社での取組みの必要性を認識しサイバーセキュリティの改善に取り組んでいる。 ・IDパスワードの複雑化や個人情報取り扱いマニュアル作成による人的な対策、UTMの設置による機器面での対策等の安価でできる取組みを進めている。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	現地及びオンラインでのハイブリッド形式で開催したが、当日は音声トラブルが発生するなど開催方法について改善する必要がある。また、集客面や実施方法についても大手企業のサイバー犯罪事例を取り上げるため年度末に開催したが開催時期の見直しが必要である。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	制度について理解を深め、今後、自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	100	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）	0		目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	具体的なBCP策定につながった企業の割合						
		数値目標	100	%	実績数値	100	%	目標達成度	100.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		人材ニーズ対応事業			事業番号	4	新規/継続	新規	
想定する実施期間		R7	年度～	年度まで	1	年 目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 少子高齢化による生産年齢人口・労働力人口の減少が小規模事業者等にも大きな影響を及ぼしている。就業者数や労働力人口は大幅に減少しており、特定の業種によっては、深刻な人材不足が見受けられる。今後、事業を継続、活性化させるためにも人材確保が急務であり、外国人材を含む多様な人材の中から、求人像に合致した人材を採用できる可能性が高い手法を事業者が選択できるように支援していく必要がある。人材不足の解消や採用力を高め労働力不足を解消することを目的とする。 (企業ニーズ) 労働力人口の減少に伴い、即戦力の人材確保が求められる中において、一定の能力、技能を有する外国人労働者の受け入れを検討していきたいとの要望があったため。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。(主に建設業、製造業など)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	特定技能等外国人材の採用に関するセミナー 日 時：令和7年7月15日(火)午後3時～午後4時30分 会 場：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①特定技能など外国人材の採用に関する制度について ②制度活用の取り組み事例など ③外国人材マッチングプラットフォーム事業について ④個別相談会 参加企業数：21社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携し、本事業を企画・運営することができた。						
		②広域連携							
③市町村連携	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	制度について理解を深め、今後、自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合						
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	成果の代表事例	外国人を雇用する時の基礎知識や国内の外国人雇用の現状、外国人採用の成功事例や失敗事例、在留資格についての説明や、特定技能制度運用の今後の動向等の情報提供があり、特定技能外国人だけでなく、外国人の採用についての様々な知識の向上につながった。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取り組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	想定していたよりも参加事業者が少なかったため、より参加しやすいように今後は会場開催だけでなく、オンライン開催も考える。また、業種によって雇用人数や受講者の予備知識にばらつきがあるため、次期以降のセミナー内容は十分に精査する必要がある。							

事業名		中小企業の人材確保支援事業		事業番号	5	新規/継続	新規		
想定する実施期間		R7	年度～	年度まで	1	年 目	※複数段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 少子高齢化による生産年齢人口・労働力人口の減少が小規模事業者等にも大きな影響を及ぼしている。事業者においては、労働力が不足しており、人材の確保に苦慮しているところである。今後、事業を継続、活性化させるためにも新たな人材確保が必要である。事業を実施することにより若年者や高齢者を含む求職者や潜在的な労働力を確保し定着させることを目的とする。 (企業ニーズ) 管内小規模事業者から労働力が不足していること、人材確保が早急に必要であるが難しいことなどの相談を受けており、そのための人材不足解消や採用力の強化の手法についての理解や知識の向上を図りたいとの要望があったため。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	若者、女性、高齢者の人材確保に関心のある管内小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	セミナー 開催日時：令和7年12月4日(木)PM2:00 開催場所：富田林商工会 会議室/Google meetによるライブ配信 開催内容：「求人や定着が上手くいかない企業の共通点」、「求人の記載・改善ポイント（求職者はここに注目している!）」「採用が上手くいっている企業の事例」、「採用・定着や賃上げに役立つ制度の活用方法や注意点」「OSAKAごとフィールドへの登録促進」など 支援企業数：14社（目標20社）							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。						
②広域連携									
③市町村連携	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	人材確保について理解を深め、今後、自社での取り組みを推進していこうと考えている企業						
		数値目標	80	%	実績数値	100	%	目標達成度	125.0%
	成果の代表事例	・セミナーを参考に求職者が求人票のどこを注視しているのか見直し、人材確保・採用に取り組んでいる。 ・従業員の定着率を改善するため社内で評価基準の見直しに取り組んでいる。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	現地及びオンラインでのハイブリッド形式で開催したが、当日は音声トラブルが発生するなど開催方法について改善する必要がある。また、内容面についても講演内容が多岐に渡ったため、終盤は駆け足となるなど内容の絞り込み等が必要である。							

事業名		カーボンニュートラル、脱炭素推進事業		事業番号		6		新規/継続		継続																																													
想定する実施期間		R5 年度～		0 年度まで		3 年目		※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること																																															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 近年、国内外で様々な気象災害が発生しており、それらの気候変動に伴い、今後、豪雨や猛暑のリスクが更に高まることが予想されている。日本においても、様々な業態の事業、経済活動等への影響が出る指摘されている。こうした状況は、単なる「気候変動」ではなく、生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている。気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されており、ライフスタイルに起因する温室効果ガスが我が国全体の排出量の約6割を占めるという分析もあり、国や自治体、事業者だけの問題でない。 これからのカーボンニュートラル、脱炭素の実現に向けて、あらゆる主体が取り組み、また、安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるための脱炭素社会の実現に向け企業として取組み、推進することにより自社の付加価値を高め、新たなビジネス転換、新事業展開につなげることで、新たな取引先の獲得やビジネスチャンスにつなげることを目的とする。 (企業ニーズ) カーボンニュートラル、脱炭素等に興味、関心があり推進していくきっかけが欲しい、知識の習得がしたいとの要望があったため。																																																					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。																																																					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	脱炭素経営セミナー 開催日時：令和7年11月25日（火）午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①中小企業の脱炭素化に向けた国の動向と関西地域の取組 ②大阪府の脱炭素経営に関する支援策の説明 ③CO2排出量可視化・SBT認証取得の重要性について ④OZCaF「見える化プロジェクト」について 参加企業数：6.5社 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="10">大阪府と連携し、本事業を企画・運営することができた。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="10">富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="10"></td> </tr> </table>										①府施策連携	大阪府と連携し、本事業を企画・運営することができた。										②広域連携											③市町村連携	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。										④相談相乗										
	①府施策連携	大阪府と連携し、本事業を企画・運営することができた。																																																					
	②広域連携																																																						
	③市町村連携	富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村と連携し、本事業を企画・運営することができた。																																																					
④相談相乗																																																							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	6.5	支援実績率	32.5%	満足率	100.0%																																														
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	脱炭素に関する知識が向上し、今後、事業活動の中で推進していこうと考えている企業の割合																																																				
		数値目標	80.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%																																														
	成果の代表事例	本セミナーを受講した情報を活かし、中小企業がカーボンニュートラルに向けて取り組むメリットを周知することができた。また、社員の知識向上を目指す事業所が見受けられ、本セミナー出席者の同業種団体で脱炭素が話題に上がる等の周知効果も見受けられた。																																																					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)				目標値 (実績)			目標達成度																																														
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和6年度より参加事業者が少なく偏ってしまったため、次年度は実施を見送る。次年度以降に実施を考える場合は会場開催だけでなく、オンライン開催も考える。また、受講者の予備知識にばらつきがあるため、次期以降セミナー内容は十分に精査する必要がある。申し込みがあったのに当日欠席した事業所へは後日個別に資料配布や相談対応を実施する。																																																					

5-7. 地域活性化事業 事業調書（実績）

富田林商工会

事業名		ＩＴツール活用支援事業			事業番号	7	新規/継続	継続	
想定する実施期間		H23 年度～		年度まで	15 年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 事業を多角的に展開する上でＩＴツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるソーシャルネットワークサービス等の講習会を実施することにより、企業内でのＩＴ化の促進、ＩＴスキルの向上や販路拡大、ＩＴを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする。 (企業のニーズ) 会議等で販路拡大に必要な情報発信ツールを有効活用できるような講習会の開催要望があったため。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○南河内地域の中小企業、小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	Aコース 開催日時：7月22日、7月29日、8月5日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会 開催内容：「SNSって本当に必要？」面倒くさい、発信ネタがない。そんなお悩みを持つ方へ 参加企業数：25社 Bコース 開催日時：8月21日、8月28日、9月4日 午後2時～午後4時 開催場所：大阪狭山市商工会 開催内容：「バズらなくていい、見つければいい」ビジネスで活かすSNSの運用方法 参加企業数：24社 Cコース 開催日時：9月17日、9月24日、10月1日 午後2時～午後4時 開催場所：河内長野市商工会 開催内容：実践型！「こんなときはどうすればいい？」講師オススのAI活用方法 参加企業数：26社 Dコース 開催日時：11月6日、11月13日、11月20日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林市市民会館 開催内容：成果につながる生成AI・SNS活用セミナー 参加企業数：45社							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	105.0	総支援企業数(実績)	120.0	支援実績率	114.3%	満足率	95.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	ＩＴツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	92.5	%	目標達成度	115.6%
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、これまで自己流で活用していたITツールについて新たな使い方や機能を知ることができた。従来は限定的な使い方にとどまっていたが、講師による具体的な事例紹介や実践的な解説を通じて、より効果的かつ効率的な活用方法を理解することができた。また、自社の業務や課題に照らし合わせながら学ぶことで、どのツールをどのように活用すれば成果につながるのかが明確になり、実務への落とし込みもスムーズに行うことができた。その結果、顧客への情報発信の質や頻度が向上し、ターゲット層へのアプローチが強化されたことで、販売促進につなげることができた。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	SNSなどの販促ツールの活用方法などは日々変化しており、それに対応できるようなセミナーの開催内容が望まれる。事業者のニーズをより把握し、情報発信力の強化に繋げたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	113.6%	満足率	96.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	I T ツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	109.1%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	I T ツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	95.8	%	目標達成度	119.8%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	118.2%	満足率	96.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	I T ツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	88.5	%	目標達成度	110.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	39.0	支援企業数(実績)	45.0	支援実績率	115.4%	満足率	91.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	I T ツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	88.9	%	目標達成度	111.1%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		製品・商品・サービス魅力強化発信事業		事業番号	8	新規/継続	継続		
想定する実施期間		H26	年度～	年度まで		12	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 商工会管内の事業所の製品、商品、サービスは個性的で、魅力的なものが多数存在しているが、製品、商品、サービスの本来持つ力、魅力等を伝えきれていないのが大部分である。見せ方ひとつで受取る側に与えるイメージやそのものの価値などが変わり、製品・商品・サービスに大きな付加価値を加えることができるということを知り、効果的なデザインの活用について学んでもらい、新たな販路の拡大、自社販売力の向上を目指す。そのことにより今後の開発意欲を高め、社内の意識改革、改善につなげる。 (企業のニーズ) 小規模事業者より、マーケティングやプロモーション手法などについて方法がわからない等の企業ニーズがあったため。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者（概ね3000社）を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	「インスタ&スマホで集客できる写真・動画セミナー」 開催日時：令和7年10月27日(月)PM2:00 開催場所：富田林商工会 会議室 開催内容：第一部・座学研修（業種別SNSでの発信内容、ブランディング・イメージに沿った撮影方法など）、第二部・グループでのワークショップ（各グループで座学研修を受講して考えた発信内容、イメージ・ブランディングの方向性などの発表・検討会）、第三部・大阪府施策の説明 参加企業：17社19名 申込み数：24社28名 セミナー終了後、個別相談会を実施。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。							
	②広域連携	各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。							
③市町村連携									
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業所をカルテ化することにより効率的な支援を行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	90.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	自社での取り組みを推進していこうと考えている企業割合						
		数値目標	80	%	実績数値	94.1	%	目標達成度	117.6%
	成果の代表事例	・セミナーを参考にHPやSNS等で使用する写真や動画を見直し、訴求効果の改善による販路開拓に取り組んでいる。 ・自社広告や自社HPのデザインを変更し、企業イメージを帰るべく取り組んでいる。							
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	告知開始開始後2週間程度で定員20名に達しQRコード経由での参加申込を取り止めるなど会場設営や見通しに問題があった。会場レイアウトを再検討し参加企業の取りこぼしを減らす。また、個別相談について、告知や参加者への説明不足な点があったため、告知時点で詳細に記載するまたは別日に相談会を開催するなど変更が必要である。							

事業名		創業促進事業		事業番号	9	新規/継続	継続			
想定する実施期間		H29	年度～	年度まで		9	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 富田林商工会管内事業数は、販売力の低下、得意先の減少、景気の悪化、後継者不足など多種多様の事情により、減少傾向にあるのが現状である。このような状況の中で、地域内の事業所数を増加させ、地域雇用の増加を図るなど地域活性が急務である。ついては、これから創業を考えている方に必要な情報を提供する機会を設けるとともに、創業しやすい環境を整え企業家育成を促進することを目的とする。 (企業ニーズ) 富田林市や商工会への創業に関する相談件数が昨年度より増加してきていること、また、実際創業した件数も増加傾向にあることから事業に対してのニーズは高いと考えられる。また、羽曳野市、富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村が「創業支援事業計画」の認定を受け、行政独自の補助施策を策定したことから、事業者の創業に対しての意識が高まったと考えられる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、羽曳野市を中心とした南河内エリアで、創業を希望、検討している方や創業後5年以内の方								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年度実施状況 ①第1回創業セミナー 開催日：令和7年4月17日・5月2日・5月9日・5月16日 開催時間：14時から16時 開催場所：LIC羽曳野 会議室 参加者：40名 ②第2回創業セミナー 開催日：令和7年6月19日・7月4日・7月11日・7月18日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：20名 ③第3回創業セミナー 開催日：令和7年9月18日・9月25日・10月9日・10月16日 開催時間：14時から16時 開催場所：LIC羽曳野 会議室 参加者：28名 ④第4回創業セミナー 開催日：令和7年11月19日・11月26日・12月5日・12月17日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：21名 ⑤創業希望者に対するトータルの支援を行う。(ハンズオン支援) ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府と連携し、創業を促進できる施策等を紹介、創業意欲の向上につなげた。 ②広域連携 広域連携することで、参加者の増加、創業に向けて近隣地域でのネットワークが構築できた。 ③市町村連携 管内市町村において、事業に関しての広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。 ④相談相乗 カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。								
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	86.0	総支援企業数(実績)	115.0	支援実績率	133.7%	満足率	93.9%
		目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
数値目標			80	%	実績数値	97.1	%	目標達成度	121.4%	
成果の代表事例		セミナー受講したことで、経営に必要な基礎知識や実践的なスキルの向上につながった。各回の講義では、創業に不可欠な内容を体系的に学ぶことができ、自身の事業アイデアをより具体的な形へと落とし込むことができた。また、セミナーで得た知識やアドバイスをもとに、実現可能性の高い事業計画書を作成することができた。さらに特定創業支援証明書の優遇制度を受け、創業へとつなげることができた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	総支援企業数の実績が計画を上回り、一定の成果はあったと考える。次年度はより内容を精査し、創業者ニーズに沿ったセミナー内容を検討していきたい。また、創業者間での交流なども積極的に促進していく必要がある。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	200.0%	満足率	90.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	80	%	実績数値	87.5	%	目標達成度	109.4%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	80	%	実績数値	95.0	%	目標達成度	118.8%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	28.0	支援実績率	140.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	80	%	実績数値	89.2	%	目標達成度	111.5%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	105.0%	満足率	95.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	80	%	実績数値	95.2	%	目標達成度	119.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	6.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	具体的に創業に向けた取組ができた割合						
		数値目標	80	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	125.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		南河内特産品ブランディング化推進事業			事業番号	IO	新規/継続	継続		
想定する実施期間		R6	年度～	年度まで	2	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	【事業の目的】 南河内地域には、良い商品や製品が多数あるが、地域内でもあまり知られていないのが現状である。それらの商品（製品）を各商工会管内でPRしているが、あくまでもその地域のみ限定的なものになっており、広く周知できているとは言い難い。そこで、地域の良い商品（製品）を集め、南河内の特産品を個ではなく広く面でとらえ、まとまりとしての南河内地域・商品（製品）の魅力を消費者にアピールし、新たな顧客の創出、販路の拡大につなげる。 【企業ニーズ】 広域での特産品販売、ブランディングの要望があったため。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	南河内地域の特産品等を取扱う事業者を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	イベント等での南河内特産品のPR ①大阪狭山市「狭山池祭り」令和7年4月27日（日）9商品 ②羽曳野市「道の駅しらとりの郷・羽曳野新店オープンイベント」令和7年12月21日（日）9商品 ③富田林市「商工祭」令和7年11月15日（土）9商品 ④河内長野市「商工祭」令和7年11月16日（日）9商品 上記①～④のイベントにて、大阪狭山市、羽曳野市、富田林市、河内長野市の特産品を集めて一堂にPRを実施した。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府と連携することで、より効果的な事業を実施することにつながった。 ②広域連携 広域的に連携して事業展開を図ることにより地域事業者の活性化を図ることができ、経営効果を促進することができた。 ③市町村連携 ④相談相乗								
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	36.0	総支援企業数(実績)	36.0	支援実績率	100.0%	満足率	97.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	農商工事業者の自社商品（製品）の販路拡大/新規顧客の開拓につながったと回答した事業者の割合							
		数値目標	70.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	142.9%	
	成果の代表事例	各地域イベントに南河内特産品として出店、消費者に対して直接商品の魅力を伝えることにより、商品の認知度も上げることができ、新たな販路の拡大につなげることができた。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今年度は昨年度に引き続き各地域のイベントにて4回南河内特産品のPR販売を実施し、販路開拓に一定の効果はあったが、各商工会管内の特産品であることを周知するにはアピールが不足していたとの声があったため、次年度はメールマガジンにてイベントでの特産品販売を告知し、チラシ等の販促物を作成し、当日に販売ブースにて配布して周知する。								